

科目名	作業療法概論			授業の種類	講義	講師名
授業回数	15 回	時間数	30 時間	1 単位	必修・選択	必修
						配当学年 時期
						1年 前期
<p>【授業の目的・ねらい】 作業療法の全体像を知る。 作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士がどんな役割を持って位置づけられているかを学ぶ。</p>						
<p>【実務者経験】 兵庫県職員として38年勤め、その間、発達障害分野を中心に精神障害分野も含む幅広い対象者に対するリハビリテーションに従事している。</p>						
<p>【授業全体の内容の概要】 講義・グループワーク等を用い、作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士としての役割について学ぶ。</p>						
<p>【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法の全体像を理解できる。 作業療法の考え方、作業療法の歴史、各領域での作業療法の仕事、作業療法に必要な基本的知識を学ぶことで作業療法士としての役割が理解できる。</p>						
回数	講義内容					準備物(教材)
1	オリエンテーション					プリント資料
2	作業療法の定義 対象					プリント資料
3	作業療法の法律					プリント資料
4	作業療法の歴史					プリント資料
5	作業療法の歴史					プリント資料
6	情報について					プリント資料
7	ICIDHとICF					プリント資料
8	医療倫理					プリント資料
9	作業療法の対象					プリント資料
10	保険制度					プリント資料
11	作業療法の根拠					プリント資料
12	作業療法の管理運営					プリント資料
13	医療事故について					プリント資料
14	臨床実習について					プリント資料
15	まとめ					プリント資料
定期筆記試験						
<p>【使用教科書・教材・参考書】 標準作業療法 専門分野 作業療法概論 第4版 医学書院 その他配布資料等</p>						
<p>【準備学習・時間外学習】 作業療法の概要や法律、歴史など幅広い知識が必要です。 レポート課題のための準備、予習が必要です。定期試験のための準備、講義の復習が必要です。</p>						
<p>【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 小テストを20点、課題の評価を30点、定期筆記試験を50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。</p>						